

2024年9月24日

富士山麓電気鉄道株式会社

富士急行線における輪軸組立作業の点検実施結果について

当社では、9月12日付で国土交通省関東運輸局からの指示により実施した、鉄道車両における輪軸の緊急点検の結果について、下記の通りお知らせいたします。お客さまをはじめ、関係の皆様にご心配をおかけしておりますことを、お詫び申し上げます。

記

1. 点検対象輪軸

計124軸 内訳：特急車両 24軸（2編成（6両））
普通車両 100軸（9編成（25両））

2. 点検結果

- ・該当作業の受託業者の1社である京王重機整備株式会社から、輪軸組立作業において、圧入力値が目安値を下回っていたが、目安値内の数値に差し替えて、当社に報告書を提出していたとの報告がありました。

データ差し替えが判明した輪軸数 計12軸

- ・また上記を除く実施した記録（京王重機整備とは別の受託事業者）の中で、圧入力値が目安値を下回っている輪軸がありました。また、圧入力値が確認できない輪軸がありました。なお、データの差し替え等はありません。

(1) 圧入力値が目安値から下回っていた輪軸数 計 3軸

(2) 圧入力値が確認できない輪軸数 計36軸

※圧入力値が確認できない全ての輪軸は他社から車両を譲受し、当社にて営業運転開始以降、輪軸組立作業が未実施であったため、そのデータがありませんでした。

3. 当社の対応

- ・締めしろ（車輪の軸穴の内径と車軸の直径の差の数値）や輪軸組立作業後及び直近の重要部検査後（圧力値が確認できない輪軸は、直近の重要部検査後のみ）における超音波探傷検査の記録を確認しました。また、今回の指示を受けて、緊急点検にてバックゲージ（車輪間隔）の測定を実施。車輪の緩みがなく安全性に問題ないことを確認しました。
- ・データの差し替えが判明した京王重機整備株式会社に対し、再発防止の徹底を求めます。

以 上